

広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム 派遣留学報告書

	記入日	平成26年6月8日		
所属学部・研究科	教育学部	3年次 (留学開始時点)		
留学先大学	ネバダ大学 (国名: アメリカ合衆国)			
所属学部・学科等名	IELC			
在籍身分	留学生			
留学期間	平成 25年 9月 1日 ~ 平成 26年 5月 9日			
1. 渡航について				
ビザについて	ビザの種類: F1			
	ビザ申請先: 合衆国大使館 (大阪)			
	取得方法, 提出書類: パスポート、写真、申請書、受け入れ許可証			
	手続きに要した日数: 約二週間			
その他必要な事前手続き				
出国年月日	平成 25年 8月 17日			
経路	関西国際空港発仁川経由サンフランシスコ行			
現地での出迎え	<input type="checkbox"/> 有 (・大学関係者 ・その他) <input checked="" type="checkbox"/> 無			
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	約半日、大学設備の使い方、銀行口座の作り方、授業の受け方など			
帰国年月日	平成 26年 5月 10日			
経路	リノ空港発サンフランシスコ経由関西国際空港着			
2. 留学経費について				
所要経費	総額	約 135 万	円	
	内訳	渡航費	20 万	円
		保険料	6 万	円
		教科書代(学費)	2 万	円
		宿舍費	45 万	円
		食費	50 万	円
		その他 (交際 費)	10 万	円
(雑費 (携帯など))	5 万	円		
(費)		円		
3. 授業について				
25年 秋学期	9月 上旬	~	12月 下旬	

26年 春学期	1月 中旬 ~	5月 上旬
年 学期	月 日 ~	月 日
年 学期	月 日 ~	月 日
授業の概要について (カリキュラム, プログラム等)	総合英語、reading/writing、speaking/listening	
単位互換希望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 ※有の場合, 所属学部支援室へ提出の単位認定申請書類のコピーを添付すること	
学術面に関する後輩へのアドバイス	わからないことに慣れること。どれだけ勉強しても知らない単語、表現は必ず出てくるのでわからないことに固執せずわかることから解答し、全体的に解いていくこと。	
4. 生活等について		
(1) 留学先の住居について		
住居の種類	<input type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート <input checked="" type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他 ()	
住居の広さ	アメリカの平均的なサイズの家	同居人の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 (5 人) <input type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input checked="" type="checkbox"/> 風呂 <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所 <input checked="" type="checkbox"/> 暖房 <input type="checkbox"/> 冷房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input checked="" type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他 ()	
住居費	1ヶ月当たり 40 ドル(現地通貨)	約 4万 円
住居を決定した方法	<input type="checkbox"/> 留学先大学の紹介 <input checked="" type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者 <input type="checkbox"/> その他 ()	
留学先での住居全般に関するアドバイス	ルールとマナーを守ること。破る際は住人に最大限の配慮をすること。	
(2) 医療について		
1日以上入院を要する病気・怪我等を	<input type="checkbox"/> した <input checked="" type="checkbox"/> なかった	
入院した場合	<input type="checkbox"/> により <input type="checkbox"/> 日入院	
留学に当たり保険を	<input checked="" type="checkbox"/> 掛けた <input type="checkbox"/> 掛けなかった	
掛けた場合	<input checked="" type="checkbox"/> 日本 <input type="checkbox"/> 留学先国 <input type="checkbox"/> その他 ()	
掛け金は	年間 6万 円 補償額 死亡 円, 入院1日 円 その他 ()	
留学前後での予防接種の必要の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
有の場合, その種類, 回数, 費用, 受けた医療機関名	ただし、大学内の病院で予防接種を受ける	
日常的な健康について不安が	<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった あった場合その理由:	
留学先国の医療事情 (日本と比較して)	医療費は高いが日本より医療水準は高い	

留学先での健康管理, 衛生面について特に注意すべきこと	特になし	
(3) 危険を感じた地域, 状況		
バーの中での喧嘩		
(4) その他生活等に関して参考となる事項		
自転車を早めに買ったほうがいい		
5. 帰国後の進路について		
卒業予定年月	平成 27年 3月	(当初の卒業予定年月 平成 27年 3月)
卒業が遅れる見込みの場合, その理由	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他 (具体的に)	
現在の状況および今後の予定・進路等	教員採用試験の勉強中	
就職活動や留学前の単位取得, 教育実習等についての工夫	教育実習に関して、1月、4月、5月に説明会が行われるが、担当教員が代理出席という形を取り、通常通り9月の実習に参加できることになった。留学に理解のある教授のゼミを選ぶことが大切。	
6. 留学準備, 留学中に役立った書籍, ウェブサイト等		
書籍, サイト名	詳細 (出版社, URL 等)	コメント
7. 自由記述 (後輩へのアドバイス等)		

学習の概要に関するレポート

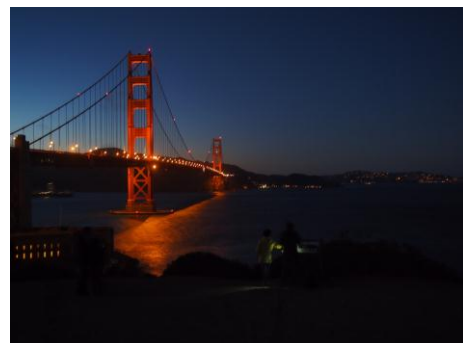
2013年8月から2014年5月までの約10か月間アメリカのネバダ大学へ広島大学の交換留学プログラムを利用し留学をしていました。私が所属していたのはIELCという英語の習得を目的としたネバダ大学内の一機関です。私自身英語が得意ではなかったため学部の授業を受けることはありませんでした。その科目として総合英語、reading/writing、listening/speakingの3科目がありました。システム自体は普通の学部生と同様で、各授業に先生が一人と10人前後の学生います。生徒は授業ごとに教室が違うのでほとんど毎休み時間に移動しなくてはなりません。では、各授業の特徴について紹介していきます。

まず一時間目の授業は総合英語です。これは月に一度テーマを選び、それについて学習します。先生からの教授式もあれば、学生同士のディスカッション、プレゼンテーションなど授業形式は様々です。授業の内容も多岐にわたり、難解な英語についての授業もあれば、文学作品についての授業もあります。文化比較や経済についてのテーマもあります。自分に合った授業を取ることができれば毎朝大学に行くのが楽しみになるでしょう。またIELCには世界各国から留学生がきています。そのため、意見が偏ることなく常に興味深く議論が進んでいきます。英語はもちろんですが、同級生の考えを理解することは、そのまま国際的素養を養うことに繋がるでしょう。

次の時間にあるのがreading/writingです。これはそのままですが、読み書きの練習です。ここでは学術的なレポートの書き方を練習し、少し専門的な文章、そして一般的に読まれている本を読んでいきます。レポートについては英語自体の指導も入りますし、論理的な構成、明確明瞭な書き方、適切な単語にまで言及し指導してくれます。今まで曖昧に使っていた英語を直すよいきっかけになるに違いありません。読むことに関してですが、とにかく量をこなします。また例えわからない表現、単語があったとしても調べたりはしません。わからないことに慣れ、全体の概要をまず理解すること、そして可能ならば英語を英語として理解する練習をします。読んだ本の内容は個々がそれについての絵や要約や質問を準備しクラスで共有します。そこで初めてわからなかった箇所を知ります。いくら勉強をしても知らない単語は数多くあります。そこで止まると学習は進みません。曖昧さや不明瞭さを許容することが大切です。

そして最後はlistening/speakingです。これもそのままですが、聞くことと話すことについての授業です。リスニングの教材はYouTubeやラジオ、tedなどを主に使用します。いくら聞き取れても忘れては意味がありません。そこで効果的なノートの取り方を学習することに意味があります。この授業ではノートを取ることを重点的に学習します。またspeakingは適切な単語や表現の使い方を学びますが、発音にかんしてはあまり指摘されません。またなにより稚拙な英語でも自身の考えを相手に伝えられるどうかに重きを置いています。

IELCは英語だけでなく大学生として必要な能力を身に着けることを最優先に考えています。そのため、授業ではレポートやプレゼンテーション、ノートを取ることに時間を割きます。そしてこれらは日本の英語学習では教わることは稀です。英語学習の一つの方法として取り上げることはあっても、それが主になることはないでしょう。もし、将来は研究者として海外の大学へ進学を考えているならば、学部生のうちに必要な英語力と学習者としての素地を養うために時間を使うのも一つの選択ではないでしょうか。



生活の概要に関するレポート

私が滞在していたリノという町は例えるなら西条によく似た町です。町自体は小さいですが、食料品店、衣料品店、コンビニ、総合病院、レストラン、バー、そしてカジノとあらゆるものが規模は小さいながらも揃っています。住んでいて困ることはまずないでしょう。しかし、それは車があつての話です。徒歩での移動となると、少し距離があるように感じます。ですので、自転車を購入することをお勧めします。一概に生活といってもいろいろあります。そしておそらくですが、私と同様に留学した他の学生は主に勉学と絡めた生活か、もしくは生活上知っておくべきことについて書いてくれていると思いますので、私は生活する上で必要はないけれども、知っておくと便利なことについて紹介します。

ネバダといえばやはりカジノが有名です。週末になると隣のカリフォルニア州から多くのギャンブラーが押し寄せてきます。カジノの駐車場の半数近くはカリフォルニアナンバーになります。私もカジノに何度か友人とともに足を運んだことがあるのですが、カジノは21歳以上でないと遊ぶことができません。テーブルに座るとIDチェックを受けることがしばしばあります。しかしカジノ内には美味しいレストランがたくさんあります。またゲームセンターやプールを備えているカジノもあります。そういったところはギャンブルをしなくても充分楽しめるのではないのでしょうか。また、カジノのテーブルに着くとウェイトレスがお酒の注文に来てくれます。メニューはありません。なぜならカジノで遊ぶとお酒がほぼすべて無料になります。ただし、運んできてくれたウェイトレスの方には1ドル程度のチップを渡すことが礼儀です。日本人として恥じないギャンブラーでいましょう。

友達ができるとお酒を飲みに行きたくなるのが人情というものです。日本人は他の国の人と比べるとやや無口な傾向はありますが、お酒を飲むと普段よりは饒舌になります。それには理由があり、日本人は知識が豊富なので言葉にする前に頭の中で間違いのない英語かどうか確認をしています。しかし、お酒が入ると浮かんだことをすぐ口にするようになります。英語はただの道具です。要は例え間違っていたとしても伝わればいいのです。そして間違いを恥ずかしさを消してくれるのがお酒です。どんどん飲みに行き友達との友情を深めるとともに話すことにもなれましょう。ただし、バーもカジノと同様に21歳以上でないとお酒は買えません。それどころか入店すること自体できないお店もあります。食料品店でもお酒を購入する際はIDを見せなければなりません。ネバダは21になってから、ですね。

せっかく異国の地に降り立ったなら旅に出たいですよね。しかし、広大なアメリカは旅行の際飛行機での移動が主流です。しかし、私はお金がなかったので飛行機での旅行はニューヨークに行った一度きりです。あとは車での旅行をしました。国際免許を持っているとアメリカで車を借りることができます。四人の相乗りですと大変安価な旅行になるでしょう。リノからならサクラメント、サンフランシスコ、ヨセミテ国立公園は車でいけます。ラスベガスもロサンゼルスも可能です。またモーテルがたくさんあるので宿泊にも困らないでしょう。ガソリン代も日本の半額から3分の2程度です。ただ国際免許証は日本でしか取得できませんので気を付けてください。他にもメガバスやグレイハウンドを使ったバスの旅や電車での旅もできますが、あまり便利とはいえません。またメキシコの国境近くまで行けばバスでメキシコに入国することができます。ただし、ビザの関係もあるので国境を越える際はよく確認してください。大学の証明が必要のはずです。

行動範囲を広げればそれだけ危険も伴うでしょう。旅慣れたつもりの人は気を付けたほうがいいかもしれません。旅慣れた人ほど危機管理意識も高いです。本当の意味で楽しく、実りのある留學生活を送ってください。

